

ITER 高周波加熱装置の据付・組立設計、機器設計・
開発及び関連する発注業務に係る労働者派遣契約
仕様書

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
那珂フュージョン科学技術研究所
ITER プロジェクト部 RF 加熱開発グループ

1. 件名

ITER 高周波加熱装置の据付・組立設計、機器設計・開発及び関連する発注業務に係る労働者派遣契約

2. 目的

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（以下「QST」という。）は、ITER プロジェクトにおける国内機関の責務として実施する調達活動（調達準備活動を含む。）を進めている。仕様書は、ITER 高周波加熱装置及び関連する機器の調達活動の中で、それらの据付・組立設計、機器設計・開発、関連する文書作成、及び管理を実施する必要があり、この据付・組立及び機器開発の業務に従事する労働者の派遣について定めたものである。

3. 業務内容

本業務に係る作業は、RF 加熱開発グループ所掌の以下の試験装置・作業エリア（放射線管理区域を含む。）にて実施されるものである。

- JT-60 付属実験棟 高周波工学試験装置（ジャイロトロン出力試験装置）
- JT-60 付属実験棟 高周波工学試験装置（長パルスジャイロトロン試験装置）
- JT-60 高周波加熱装置の設置エリア
- JT-60 付属実験棟 居室

具体的な作業は以下のとおり。

（1）ITER 高周波加熱装置の現地（ITER サイト）での据付・組立に関する業務

- ① 現地据付・組立に関する配置設計及び支援業務
- ② 機器の現地での据付・組立の実施及びその支援
- ③ 現地への機器輸送に関する ITER 機構や据付・組立業者及び輸送業者との各種打合せへの参加
- ④ 現地や港湾における輸送された機器の状態確認への立会及びその支援
- ⑤ ITER 高周波加熱装置に係る機器の据付・組立に係る文書作成
- ⑥ ITER 高周波加熱装置に係る機器設計、開発試験
- ⑦ 据付・組立に関する各種文書の管理

（2）ITER 高周波加熱装置及び関連する機器の設計・開発・試験及び関連する発注業務

- ① ITER 高周波加熱装置の調達準備活動における機器設計・開発
- ② ITER 高周波加熱装置の性能確認試験における試験機器や真空排気装置、冷却水配管などの据付
- ③ ITER 高周波加熱装置の性能確認試験及び試験機器の準備
- ④ 高周波を用いた伝送機器や関連する機器、ランチャー及び関連する制御系機器の開発試験における各種試験および試験機器の準備
- ⑤ 上記業務における調達品の発注・起票業務

上記業務と密接不可分・一体的に行われる付随業務として、国内機関の担当者の指示の下、調達活動における設計に関連する発注業務や図書類の作成、保管等の作業を行うこと。

(3) その他上記の付随的業務

上記(1)及び(2)に関連する業務で、派遣労働者の就業場所において自他に関わりなく派遣労働者の業務とされているもの。

4. 必要な要件

- (1) 機器の据付・組立及び現地への輸送に関わる技術及び知見、試験機器・装置等の設計及びそれらの機器を使用した研究開発を行うために必要な高周波技術及び高電圧大電力電源に係る技術、真空技術、冷却システムに関する知見・技術力を有すること。
- (2) 研究開発支援を安全かつ効率的に実施するために必要な下記の特別教育・技能講習（又はその内容を内包する、より上位かつ高度な教育・講習）を受講済みであること。

玉掛け技能講習、フォークリフト運転者、小型移動式クレーン運転技能講習、電気取扱業務（高圧特別高圧）（低圧）特別教育、酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者、足場の組立等作業主任者

- (3) 研究開発支援を効果的かつ円滑に実施するために必要な下記の資格・免許（又はその内容を内包する、より上位かつ高度な資格・免許）を有すること。

第二種電気工事士、クレーン運転士（5t以上）

- (4) 上記業務を遂行する上で必要となる事務系パソコンソフト（MS-Word 及び MS-Excel）を用いて文書を作成することが可能であること。
- (5) 研究開発を実施する場所には放射線管理区域が含まれることから、放射線作業従事者として作業を行うことが可能であること。
- (6) 業務を遂行する上で必要な意思疎通を日本語で行うことが可能であること（日本語を母語とするか、日本語能力検定 N1 に合格していること）。

5. 派遣労働者が従事する業務に伴う責任の程度

役職なし

6. 就業場所

QST 那珂フュージョン科学技術研究所

ITER プロジェクト部 RF 加熱開発グループ

住所：茨城県那珂市向山 801 番地 1

ただし、QST が認める場合は必要に応じて派遣労働者の自宅等

電話：029-210-2729

7. 組織単位

那珂フュージョン科学技術研究所

ITER プロジェクト部 RF 加熱開発グループ

8. 指揮命令者

那珂フュージョン科学技術研究所
ITER プロジェクト部 RF 加熱開発グループリーダー

9. 派遣期間、就業日、就業時間・休憩時間、人員

(1) 派遣期間 令和8年4月1日～令和9年3月31日

(2) 就業日

土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日）、その他QSTが指定する日（以下「休日」という。）を除く毎日。

ただし、QSTの業務の都合により、休日労働を行わせることがある。

なお、休日労働の対価は、契約書別紙に基づき支払う。

(3) 就業時間・休憩時間

9:00～17:30（休憩時間 12:00～13:00）

必要に応じ、業務時間外であっても業務を実施する場合がある。

なお、業務時間外の労働の対価は、別途精算払いを行う。

派遣労働者が在宅勤務をする場合には、原則として就業時間外勤務及び出張・外勤を認めない。

(4) 人員 1名

（派遣労働者が不測の事態により業務に従事できず、業務に支障を及ぼすと認められる場合は、交代要員を配置させるなど、QST職員と協議の上、必要な処置を講じること。）

10. 派遣先責任者

QST 那珂フュージョン科学技術研究所 管理部 庶務課長

11. 派遣労働者を派遣元における無期雇用者又は60歳以上の者に限定するか否かの別

派遣労働者を「無期雇用派遣労働者又は60歳以上の者に限定しない」。

12. 服務等

一般健康診断については、派遣元が負担すること。

特殊健康診断については、QSTが負担する。

在宅勤務において、通信費・水道光熱費その他費用については派遣元又は派遣労働者の負担とする。

13. 提出書類

派遣労働者決定後、下記の書類のうち（1）～（5）については「指揮命令者」及び「派遣先責任者」（人事担当課）へ各1部、（6）については契約担当課へ速やかに提出すること。

（1）派遣元の時間外休日勤務協定書（写）（契約後）

- (2) 派遣元責任者の所属、氏名、電話番号（契約後及び変更の都度速やかに）
- (3) 派遣労働者の氏名等を明らかにした労働者派遣通知書（契約後及び変更の都度速やかに）
- (4) 派遣労働者の社会保険、雇用保険の被保険者資格の取得を証する書類（契約後及び変更の都度速やかに）
- (5) 仕様書「4. 必要な要件」に定める資格要件等を有することを証明する資料（契約後及び変更の都度速やかに）
- (6) その他契約上必要となる書類

※上記（1）の書類は、派遣契約開始日において有効なものに限る。人事担当課へ提出後に協定の有効期間が更新された場合、あるいは契約期間中に協定に変更が生じた場合はその写しを人事担当課へ速やかに提出すること。

※上記（3）の書類には、派遣する労働者の氏名、及び性別の記載を含むこと（派遣する労働者が45歳以上である場合はその旨（60歳以上の場合はその旨）、18歳未満である場合にあっては、年齢を記載すること。）また、派遣する労働者についての健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の被保険者資格取得届の提出の有無に関する記載及び派遣元において無期雇用であるか否かの別、協定対象派遣労働者に限定するか否かの別についての記載を含むこと。

※上記（4）における書類とは、派遣労働者を派遣する時点において、当該派遣労働者が各保険に加入していることを確認できるものであり、次のとおりとする。

- ・健康保険加入を証する書類として、資格確認書または健康保険・厚生年金保険者標準報酬決定通知書等
- ・厚生年金保険加入を証する書類として、健康保険・厚生年金保険者標準報酬決定通知書等
- ・雇用保険加入を証する書類として、被保険者証等

これらの書類は写しを提出するか、又は人事担当課へ写しを提示することとする（届出日付又は取得日付以外の不要な個人情報は黒塗りとすること）。派遣労働者が変更になった場合は、同書類を速やかに人事担当課へ提出又は提示すること。

1 4. 検査条件

毎月履行完了後、QST職員が、所定の要件を満たしていることを確認したことをもって検査合格とする。

1 5. その他

- (1) 派遣期間終了後、派遣労働者を直接雇用する場合は、事前に派遣元に通知するものとする。
- (2) QSTの業務の都合により本仕様書に定める就業場所以外（海外含む。）での出張等を命ずることがある。この場合の出張旅費等については、別途精算払いを行う。

- (3) 派遣元は、QST が核融合研究・開発を行う機関であるため、高い技術力及び高い信頼性を社会に求められていることを認識し、労働者派遣法を始めとする法令のほか QST の規程等を遵守し、安全性に配慮して業務を遂行し得る能力を有する者を従事させること。
- (4) 派遣元は、派遣労働者に欠務が生じるときは直ちに QST に連絡するものとし、欠務減額するか又は交代要員を派遣するかを QST と協議し、その指示に従うこと。
- (5) 派遣元は、派遣労働者が放射線業務に従事する場合は、放射線作業従事者として登録するためには必要な教育（就業後 QST が実施すべき科目を除く。）を受講させ、電離放射線健康診断を受診させること。
- (6) 派遣労働者が在宅勤務をする場合、QST の情報セキュリティ管理規程、情報セキュリティ対策基準その他関連規程に定める内容を遵守すること。
また、特に次の事項に注意しなければならない。
 - ① 在宅勤務の際に作成した成果物等を、機構外の者が閲覧、コピー等しないよう最大の注意を払うこと。
 - ② ①に定める成果物等は紛失、毀損しないように厳格に取り扱い、確実な方法で保管及び管理すること。

16. グリーン購入法の推進

- (1) 本契約において、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に適用する環境物品（事務用品、OA機器等）が発生する場合は、これを採用するものとする。
- (2) 本仕様に定める提出書類（納入印刷物）については、グリーン購入法の基本方針に定める「紙類」の基準を満たしたものであること。

17. 協議

本仕様書に記載されている事項及び本仕様書に記載のない事項について疑義が生じた場合は、QST と協議のうえ、その決定に従うものとする。

以上